

入間市納税貯蓄組合長賞

税への感謝を抱いて

黒須中学校 三年 鈴木 桃寧

私は、公民の授業を通して、あまり気にすることが無かった「税」について考えるようになりました。テレビのニュースなどで良く取り上げられるのは消費税です。他にも所得税、法人税など至る所に税はかけられています。私達小・中学生は税に感謝して暮らすべきです。なぜなら私達は多額の税に助けられて生きているからです。

まず、先程出した税で消費税があります。私が払っているのは、せいぜい消費税ぐらいでしょう。なぜ、それだけで済むのか、答えは令和四年度一般会計予算の円グラフにある、「社会保障」にあります。大きくくりで言えば一般歳出と言い、その中の「社会保障」が一番義務教育をうける小・中学生達を支えてくれているのです。公立学校の児童・生徒一人あたりの一年間の教育負担額は小学生が約八十八万二千円、中学生は百五万二千円になるそうです。恥ずかしい話、中学三年生で初めて知りました。考えてみるとんでもない額の税の恩恵を受け続けて過ごしてきたことが分かり、無知だった頃を悔やみます。義務教育を受ける間、国は私一人に八百四十四万八千円税金で支えてくれていることになります。それが全国の小・中学生全員に配っているとなるとどうでしょう。想像し難い桁になってきます。ですから、真剣に授業を受けることも、丁寧な

掃除を毎日行うのも当然のことではないでしょうか。小学生には難しい話かもしれませんが、将来自分を支えてくれた人の為に、恩返しができるように勉強に励むのは普通のことであるべきだと思います。

さて、恩返しする為には勉強と言いましたが、それは将来働く為に、絶対に必要なことだからです。「社会保障」の中に年金という制度が存在します。つまり、私達が将来働いて納税したお金が、今まで納税していた六十五歳以上の方々の手に渡ること、実際に恩返しすることができなのです。なので、私は今からしっかり勉強に取り組み、恩返しに繋がれるように意識して生活します。

しかし、現代の日本は少子高齢化が深刻化し、年金の為の費用を負担する働き手が減っていると聞きます。もしかしたら、私が六十五歳以上になった時、年金制度は廃止されているかもしれません。悲しいことですが、どうしようも無いことなので、私達の世代は貯金が重要になると思います。今から税制度を良く知ることが、良い老後を過ごすことができる最善策かもしれないです。

最後に、私達小・中学生は税に感謝し、道具や授業を大切にし、楽しく学校生活を送ることが大切だと改めて思いました。感謝を行動に表すために、勉強に励んでいきたいと思います。また、自分の将来、老後の為に、もっともっと税について深めることができるといいなと思いました。